

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
解表剂 扶正解表剂 3		
<p>じんそいん 参蘇飲</p> <p>和剂局方</p>	<p>益気解毒・理気化痰</p> <p><主治> 気虚、外感風寒、内有痰飲 悪寒、発熱、頭痛、鼻閉、咳嗽、多痰、胸苦しい、腹満、舌苔が白、脈が弱などを呈す。</p> <p><病機> 脾肺気虚で、痰飲をもつ者が風寒の邪を感受した状態である。 風寒表証による軽度の悪寒、頭痛、発熱、身体痛、咽痛がみられ、邪により肺気が閉鬱するので鼻閉、咳嗽が生じる。脾肺気虚で水湿が生じ、痰が停積しているために多痰、舌苔が白を呈し、痰湿と外邪が気機を阻滞するので胸苦しい、腹満、腹痛、吐気を伴う。表証では脈が浮になるはずであるが、陽気が不足しているために弱脈（沈細で無力）を呈する。</p> <p><方意> 扶正達邪し内外同治する。 辛散の紫蘇葉・葛根・生姜で風寒を散じ、降気平喘の前胡、宣肺祛痰の桔梗、降気止咳の半夏、理気化痰の陳皮で宣肺平喘、止咳化痰する。補気健脾の人参・茯苓・炙甘草・大棗で扶正し、正気を補うことにより祛邪の力を強める。さらに、理気醒脾の枳殻・木香、および理気に働く紫蘇葉・半夏・陳皮で気機を通じ、「気化せば痰化す」の効果をあげると共に、運脾を促進して痰がさらに生成しないように防止する。全体で扶正達邪、疏散風寒、化痰止咳の効能が得られる。</p> <p><参考> 本方（参蘇飲）は作用が温和で、老人、幼児、虚弱者などの咳嗽、多痰を呈する感冒に有効である。 本方（参蘇飲）は、敗毒散と同じく益気解表の方剂であるが、敗毒散は、羌活・独活・川芎の配合があつて風寒湿邪が肌表を犯した場合に適し、本方（参蘇飲）は、枳殻・木香・陳皮・半夏の配合があつて外感風寒に痰阻気滞を伴う場合によい。</p> <p>日本での保険適応効能、効果 感冒、せき</p>	<p>人参・紫蘇葉・葛根・前胡・半夏・茯苓各 25 g ・ 陳皮・甘草・桔梗・枳殻・木香各 15 g</p> <p>粗末にし 1 回 12 g を生姜・大棗と水煎し服用する。約 1/3～1/5 量を生姜・大棗と水煎し分 3 で服用してもよい。</p>